

# 大会日程

## ◆第1日目 9月13日(土)

8:30~	受付開始	1階ロビー
9:00~ 9:30	開会式	第1会場(地階210教室)
9:30~11:00	基調講演	第1会場(地階210教室)
11:10~12:40	研究発表	第2会場~第7会場 (地階212・213・214・215・216・ 217教室)
12:40~13:30	昼食休憩	休憩・昼食会場
13:30~15:30	ケースワーク(ACS)	第2会場~第5会場 (地階212・213・214・215教室)
15:40~17:40	シンポジウム	第1会場(地階210教室)
18:30~	懇親会	神泉苑平八 (二条城南側)

## ◆第2日目 9月14日(日)

9:30~	受付開始	1階ロビー
10:00~12:00	ワークショップ	第2会場~第5会場 (地階212・213・214・215教室)

# 大会プログラム

## 大会 1 日目

9:00～ 9:30

開会式・・・第 1 会場（210 教室）

9:30～11:00

基調講演・・・第 1 会場（210 教室）

「老年期への発達—経験知に根ざした人生の創出—」

講師：守屋慶子（立命館大学 名誉教授）

司会：土田宣明（立命館大学 教授）

11:10～12:40

研究発表

**第 1 群 地域・家族・医療などとの関わりの中で・・・第 2 会場（212 教室）**

座長： 岡本多喜子（明治学院大学）

奥野茂代（京都橘大学）

- |    |             |  |   |   |
|----|-------------|--|---|---|
| 1. | 11:10～11:25 | 東京都 T 地区における活動的な高齢化を推進するための課題：WHO 主催高齢者にやさしいコミュニティーの実現に向けた調査より | 岡本多喜子<br>森マサ子<br>佐藤眞一<br>大川一郎<br>高橋佳代<br>柴崎政美<br>福岡綾子 | 明治学院大学<br>白金台福祉会館<br>明治学院大学<br>筑波大学<br>明治学院大学非常勤<br>日本女子大学非常勤<br>元明治学院大学大学院 |
| 2. | 11:25～11:40 | 特定地域における高齢者の健康生活の特徴  | 舟橋実加<br>井上深幸  | 大石福祉会<br>聖母女学院短期大学  |
| 3. | 11:40～11:55 | 開発途上国における活動的な高齢者：メキシコシティ高齢者文化センターの利用者の事例                       | 松岡広子<br>山口英彦  | 愛知県立看護大学<br>市民団体トランス<br>パシフィコ   |
| 4. | 11:55～12:10 | 高齢者のうつ予防プログラムの検討：参加学生の知識と対応の自己評価における効果の分析                      | 高師亜弥<br>日下菜穂子<br>河内美輪<br>廣岡紫織<br>山口美紀<br>鬼頭敦子         | 同志社女子大学<br>同 上<br>同 上<br>同 上<br>京田辺市役所<br>同 上                               |

- |    |             |                     |                              |  |
|----|-------------|---------------------|------------------------------|--|
| 5. | 12:10~12:25 | 虚記憶課題における直後再認の加齢の影響 | 島内晶<br>佐藤眞一<br>伊集院睦雄<br>近藤公久 | 明治学院大学大学院<br>明治学院大学<br>東京都老人総合研究所<br>NTTコミュニケーション<br>科学基礎研究所 |
|----|-------------|---------------------|------------------------------|--|

## 第2群 高齢者への介入Ⅰ・・・第3会場 (213教室)

座長： 箕浦とき子 (岐阜大学)

宮 裕昭 (市立福知山市民病院)

- |    |             |  |                                     |                                       |
|----|-------------|--|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. | 11:10~11:25 | 化粧療法が高齢女性に与える影響                              | 丸山あさ美<br><br>箕浦とき子                  | 杏林大学医学部<br>付属病院<br>岐阜大学               |
| 2. | 11:25~11:40 | 特別養護老人ホームにおける回想法介入の効果：対照群を設けた2回の調査結果の比較      | 津田理恵子                               | 神戸女子大学                                |
| 3. | 11:40~11:55 | レビー小体型認知症高齢者 (DLB) に対するトーンチャイムを用いたケースワークの効果  | 中原麻莉絵<br>鈴木靖之<br>野口代<br>羽田野政治       | 横浜福祉研究所<br>同 上<br>同 上<br>同 上          |
| 4. | 11:55~12:10 | 認知症高齢者の拒食行動改善に対する行動分析的アプローチ                  | 岸本英子<br>宮裕昭<br>武部美和<br>小山恵子<br>河波秀代 | 市立福知山市民病院<br>同 上<br>同 上<br>同 上<br>同 上 |
| 5. | 12:10~12:25 | 高齢者の状態は関わりによってどのように変容するのか：ユニットケアにおける人間関係を通して | 岡林春雄                                | 山梨大学                                  |

## 第3群 高齢者への介入Ⅱ・・・第4会場 (214教室)

座長： 谷口幸一 (東海大学)

小野塚元子 (京都橘大学)

- |    |             |   |   |  |
|----|-------------|---|---|--|
| 1. | 11:10~11:25 | 認知行動療法に基づく高齢者のうつ予防プログラム：抑うつ感情と幸福感における効果 | 日下菜穂子<br>山口美紀<br>鬼頭敦子<br>高師亜弥<br>廣岡紫織<br>南部綾香<br>河内美輪 | 同志社女子大学<br>京田辺市役所<br>同 上<br>同志社女子大学<br>同 上<br>同 上<br>同 上 |
| 2. | 11:25~11:40 | 介護予防を中心として地域づくり実践の評価                    | 井上深幸<br>足立恵子<br>吉島紀江                                  | 聖母女学院短期大学<br>同 上<br>同 上                                  |

- |    |             |   |                       |   |
|----|-------------|---|-----------------------|---|
| 3. | 11:40~11:55 | 地域包括支援センターにおける介護<br>予防普及事業の展開方法に関する研究                   | 大沼由香<br>峯尾武巳          | 宮城県柴田町地域<br>包括支援センター<br>神奈川県立保健<br>福祉大学 |
| 4. | 11:55~12:10 | 在宅高齢者の運動の生活化に及ぼす<br>心理社会的要因の検討                          | 上野邦子<br>谷口幸一          | 東海大学<br>同 上                             |
| 5. | 12:10~12:25 | 認知症高齢者における BPSD について<br>の文献検討：攻撃的行動に対する非薬<br>物療法に焦点を当てて | 大畑茂子<br>小野塚元子<br>奥野茂代 | 京都橘大学大学院<br>京都橘大学<br>同 上                |

#### 第4群 高齢者や終末期の人への関わり・・・第5会場 (215 教室)

座長： 河野保子 (宇部フロンティア大学)

真砂良則 (北陸学院大学)

- |    |             |   |                              |   |
|----|-------------|---|------------------------------|---|
| 1. | 11:10~11:25 | 事例でみる在宅で終末期を迎えられる<br>要件：A 地域の 9 事例で考える          | 吉田千鶴子                        | 元岩手県立大学   |
| 2. | 11:25~11:40 | 満足を支える小規模多機能型介護に<br>おけるターミナルケアを考える              | 平澤信子<br>佐藤章<br>松村ゆきゑ<br>渡辺令子 | 小規模多機能型居宅介<br>護事業所 桜の園<br>同 上<br>同 上<br>同 上                       |
| 3. | 11:40~11:55 | 在宅で不安を抱える独居高齢者への<br>地域での関わり                     | 古川潤子<br>仁平光恵<br>河野恵理子        | 白梅学園大学・短期<br>大学実習指導セン<br>ター<br>介護センター きらら<br>東村山市南部地域<br>包括支援センター |
| 4. | 11:55~12:10 | 高齢者夫婦の生活適応に関する一考<br>察：K 市における男性高齢者の事例<br>分析を通して | 小石真子                         | 太成学院大学  |

#### 第5群 加齢への意識や感情・・・第6会場 (216 教室)

座長： 飯田英晴 (藍野大学)

雨宮洋子 (総合ケアセンター泰生の里)

- |    |             |   |                       |                    |
|----|-------------|---|-----------------------|--------------------|
| 1. | 11:10~11:25 | 日本人高齢者によるサクセスフル・<br>エイジングの特徴：半構造化面接を通<br>じて     | 田中真理<br>大川一郎<br>新井邦二郎 | 筑波大学<br>同 上<br>同 上 |
| 2. | 11:25~11:40 | 虚弱高齢者の「Positive Aging」の類型<br>化に関する研究：志向性の構造分析   | 佃亜樹                   | 立命館大学大学院           |
| 3. | 11:40~11:55 | 在日韓国・朝鮮人高齢者一世の心理：<br>ライフストーリーからの「恨」を中心<br>とした考察 | 姜仙兒                   | 立教大学社会福祉<br>研究所    |

- |    |             |  |                    |   |
|----|-------------|--|--------------------|---|
| 4. | 11:55~12:10 | 高齢者に関する大学生の事実認識：<br>エイジングクイズを用いて       | 柴崎祐美               | 日本女子大学                                    |
| 5. | 12:10~12:25 | 地域祖父母世代の子育て支援意欲に関<br>わる要因の検討：性差に着目した検討 | 田淵恵<br>中原純<br>藤田綾子 | 大阪大学大学院<br>大阪大学大学院・日<br>本学術振興会<br>大阪大学大学院 |

## 第6群 介護者の養成や研修・・・第7会場（217教室）

座長： 吉島紀江（聖母女学院短期大学）

澤村一寿（ディサービス花咲里）

- |    |             |  |  |  |
|----|-------------|--|--|--|
| 1. | 11:10~11:25 | 訪問介護利用者（高齢者）の性行動に<br>対する介護職員の意識と対応に関する<br>研究：その1 | 荒木乳根子<br>増田いづみ<br>大川一郎<br>井上勝也                       | 田園調布学園大学<br>同 上<br>筑波大学<br>駿河台大学                 |
| 2. | 11:25~11:40 | 訪問介護利用者（高齢者）の性行動に<br>対する介護職員の意識と対応に関する<br>研究：その2 | 増田いづみ<br>荒木乳根子<br>大川一郎<br>井上勝也                       | 田園調布学園大学<br>同 上<br>筑波大学<br>駿河台大学                 |
| 3. | 11:40~11:55 | 新人研修から見た職員定着率                                    | 堀善昭  | 京都福祉サービス<br>協会・同志社大学                             |
| 4. | 11:55~12:10 | 介護実習の場面から考える実践型教授<br>法への示唆                       | 吉島紀江   | 聖母女学院短期大学  |
| 5. | 12:10~12:25 | 認知症専門介護福祉士教育の試み                                  | 喜多祐荘<br>後藤真澄<br>壬生尚美<br>馬場美穂<br>海老諭香<br>大西奈緒<br>森田直子 | 中部学院大学<br>同 上<br>同 上<br>同 上<br>同 上<br>同 上<br>同 上 |

**13:30~15:30**

## ケースワーク（ACS）

### 1. 第2会場（212教室）

タイトル「 頰部食道癌術後に嚥下障害を呈した症例：摂食嚥下訓練を支えるとともに負担と  
なった行動の考察 」

発表者 戸名久美子(大阪医療センター)

司 会／スーパーバイザー 峯尾武巳（神奈川県立保健福祉大学）

コメンテーター 石川みち子（岩手県立大学）

## 2. 第3会場 (213 教室)

タイトル「新しい環境(ショートステイ)への適応：もう一つの居場所を見つけた」

発表者 植村亜弥 (洛和ヴィラ桃山)

司会/スーパーバイザー 山本哲也 (つくば国際大学)

コメンテーター 荒木乳根子 (田園調布学園大学)

## 3. 第4会場 (214 教室)

タイトル「認知症と診断された男性の運転への固執と環境、支援の在り方：認知症でも運転せざるを得ない思いを受止めて」

発表者 河岸かおり (美山やすらぎホーム)

司会/スーパーバイザー 米山淑子 (NPO 生き生き介護の会)

コメンテーター 佐藤美和子 (桜美林大学)

## 4. 第5会場 (215 教室)

タイトル「過去の生活妄想にとらわれ、不安になる利用者の事例」

発表者 永井美香 (木更津南清苑)

司会/スーパーバイザー 斎藤淳 (楽晴会三沢老人ホーム)

コメンテーター 宮島渡 (アザレアンさなだ)

15:40~17:40

## シンポジウム・・・第1会場 (210 教室)

「韓国に学ぶ日本の高齢者介護の課題—日韓介護問題を通して—」

司会 佐藤眞一 (明治学院大学心理学部 教授、日本老年行動科学会 会長)

韓国側シンポジスト 鄭相陽 (光州大学校 社会福祉学部教授、韓国社会福祉学会運営理事、韓国社会福祉学会 韓国学術交流委員)

宋大炫 (国立全南大学名誉教授、日本老年行動科学会特別会員、韓国痴呆家族協会 光州・全南支部部長、元韓国心理学会会長、元韓国老年学研究会会長)

日本側シンポジスト 岡本多喜子 (明治学院大学社会学部 教授、日本老年行動科学会 常任理事)

# 大会 2 日目

10:00～ 12:00

## ワークショップ

### 1. 第 2 会場 (212 教室)

タイトル「お茶と食生活」

講師 福司山エツ子 (鹿児島女子短期大学)

### 2. 第 3 会場 (213 教室)

タイトル「元気がなにより」

講師 山崎律子 (余暇問題研究所)

### 3. 第 4 会場 (214 教室)

タイトル「介護場面で遭遇する不適応行動への対応方法

—臨床心理学・行動療法の立場から—

講師 宮 裕昭 (市立福知山市民病院)

### 4. 第 5 会場 (215 教室)

タイトル「脳を鍛える『音読・計算』活動の実際」

講師 立命館大学高齢者プロジェクト

石川真理子・小田博子・片桐直哉・坂口佳江・孫 琴・

高橋伸子・箱岩千代治・宮田正子・吉村昌子(五十音順)